

令和七年度
浜松学院大学
地域共創学部

一般入試A日程 問題

<既合格者の給費生チャレンジを兼ねる>

「国語」

注 意 事 項

1. 問題用紙は合図があるまで開かないでください。
2. 問題用紙および解答用紙に、受験番号および氏名を必ず記入してください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 試験時間は60分です。
5. 印刷に不鮮明な所がある場合は、挙手して知らせてください。
6. 試験終了後、問題用紙および解答用紙を回収します。
回収が終わるまで、席を立たないでください。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

一 次の文章は、小川洋子の小説『ことり』の一部である。人間の言葉は話せないが小鳥のさえずりを理解する兄は、十一歳を過ぎたあたりから自分で編み出した言語で話し始め、兄の言葉を唯一理解できる弟と支え合って生きていた。本文は、後に(小鳥の)小父さんと呼ばれるようになった弟が、言語学者に母親が兄の言葉を調査してもらった時の様子などを回想している場面である。これを読んで後の間に答えなさい。なお、出題に際し表記を一部改めている。

他にもお兄さんは家族構成や好きな勉強について質問されたり、絵本を読まされたり、童謡を歌わされたりした。適宜言語学者が録音機を回し、簡単なメモを取った。母親は励ますように、息子の背中を撫でた。どう形式を変えようと、お兄さんの口から発せられる言語は一貫していた。その間、白いバスケットを握って離さなかった以外、彼はa^レイギ正しい態度を保ち続けた。

小父さんはひたすら録音機を観察していた。A お兄さんの声がこの半透明で薄っぺらなテープに吸い取られているのかと思うと、不思議でならなかった。いかにも頑丈そうな革張りの箱に守られた機械の奥で、働き者の小人たちがお兄さんの声をせつせと集め、一つずつ麺棒で伸ばしてテープに貼り付けてゆくさまが浮かんでくるようだった。お兄さんのは特別な言葉だから、小人たちは戸惑っていないだろうかと心配した。言語学者がつまみを右にしたり左にしたりするたび、小人たちはその指令に忠実に従った。小さな輪から大きな輪へ、大きな輪から小さな輪へ、テープは滑らかに回転した。老人の手一つで、この複雑な作業がすべて統制されていた。つまみを回す時に指先に伝わる、小人たちの一斉の緊張を想像するだけで、小父さんの胸は高鳴った。

「どこの言語でもありません」

不意にテープが止まった。

「単なる雑音です」

母親が、えっ、と聞き返す間もなく言語学者は追い討ちをかけた。

「B でさえ、ないものですか」

老人はカードを束ね、大きな音を立てて机の引き出しに仕舞った。それで終わりだった。研究対象としている少数言語の収集に、何ら役立たないことが確認された途端、老人の表情は一段と無愛想になった。「そうですか……」とただつぶやくばかりの母親を慰める気配も、お兄さんにいたわりの言葉を掛ける素振りも見せなかった。

唐突にお兄さんはバスケットの留め金を外し、(注)例の点検をはじめた。ビー玉をつまみ上げ、クリップで親指を挟みかけたところで母親がお兄さんの手を握り、

「帰りの、汽車の中でやりましょうね」と言った。

あの時の録音テープが残っていれば、と小父さんは残念に思った。たとえ言語学者のひどい咳に邪魔されているとしても、あそこには間違いなくお兄さんの言葉が記録されているはずだった。しかしそれは一度として再生されることもなく、キリンのカードほどにも大事にしてもらえないまま、手の届かないところへ消え去ってしまった。

地図にも載らないどこか遠い小島に暮らす、内気で善良な人々が息子の仲間ではないだろうか、という母親の願いは打ち砕かれた。小島の住人はお兄さん一人だった。けれどそこは決して**コウリヨウ**とした不毛の地ではなかった。波は穏やかで、思索にふけるに相応しい木陰があちこちにあり、頭上では小鳥たちがさえぎっている。そしていつでも小父さんが好きな時に、手漕ぎボートに乗って接岸することができる。

お兄さんの言語を知らない人に、それを再現して聞かせるのは、たとえ小父さんでも難しかった。分かることと、喋ることは別だった。カードの絵を当てるように、単語一つ一つを発音するのは可能だとしても、それは単なる断片に過ぎず、言語の全体を支える骨格と、根底を流れる響きの魅力をよみがえらせるのは不可能だった。

言語学者は雑音の一言で片付けたが、愚かとしか言いようがない。C お兄さんの言語は乱雑さとは正反対にあった。文法は例外を許さない強固なルールに則^{のっと}って組み立てられ、語彙は豊富で、時制、人称、活用形なども整っていた。好ましい素朴さと、長い年月を費やして形成された地層のような安定と、思いがけない細やかさが絶妙に共存していた。

しかし最も特徴があるのは発音だった。音節の連なりには、誰も真似できない独特な抑揚と間があった。ただ単に独り言をつぶやいているだけの時でも、まるでお兄さん一人しか見えない誰かに向って、歌を捧げているかのように聞こえた。一番近いのは何かと聞かれれば、それはやはり、僕たちが忘れてしまった言葉、といつかお兄さんが言い表わした、小鳥のさえぎりであった。

それほどの言語であったのに、お兄さんは書き言葉を残さなかった。喋るだけで十分、紙に書く必要などない、という態度だった。逆に言えば、耳と目をつなぐ目印となるものがないままに、D 一つの言語を編み出したことになる。小鳥のさえぎりだけをお手本に、お兄さんはただ一人、自分で自分の耳に音を響かせながら、小鳥に散らばる言葉の小石を、一個一個ポケットに忍ばせた。小鳥たちのさえぎりからこぼれ落ちた言葉の結晶を、拾い集めていった。

当然ながら母親は、小島に接岸する小父さんの手漕ぎボートに同乗したが、できれば自分でオールを漕ぎたいほどの熱意を見せた。E 小島に上陸できるのなら、どんな努力もいとわなかった。小父さんの手を借りながら、彼女は少しずつ息子の言語を覚えようと、実

際、最初の頃の訳も分からない状態からは脱したが、小父さんからすれば十分とは言いがたかった。彼女の耳は既に、語尾の微妙な変化を聞き分ける柔軟性を失っていたし、しばしば、こうあってほしいという願望を織り込んで、本来の意味を歪める場合があった。

それでも母親は、自分には息子の言葉が分かる、とのジブを持つようになった。お兄さんの言っている意味が分からない時でも、分かった振りをした。振りを続けながら、本当は分かっているのだと自分に思い込ませた。

母親の間違いに気づいても、小父さんは訂正しなかった。例えばある時、

「チクチクするチョッキは嫌だ」

とお兄さんが言った。

「あら、そう？ 安物の苺だったからかしら」

と母親は答えた。チョッキと苺は、発音がよく似ているのだった。

「今度からはdウブゲをちゃんと洗い落とさなくちゃね」

Fあくまでも昨夜食べた苺について語る母親の言葉を背中で聞きながら、お兄さんは毛糸のチョッキを脱ぎ、タンスの引き出しの一番下に押し込めた。

あるいはお兄さんが、

「シャンプーはしない。髪が濡れると半分死んだ気持になるから」

と言った時は、母親は大きくうなずいて同意した。

「本当にそうねえ。あなたの言うとおり。夜遅くまで起きているのは、体に毒よ」

シャンプーと夜更かしの発音は、さほど似ているとは言えなかった。

小父さんもお兄さんも、母親に向って「間違っている」と言わなかった。どんなに形の違う小石でも、一緒にポケットに入れておくうち、不思議と馴染んでくるものだとよく知っていたからだ。 **G** 兄弟はただ黙って、チョッキと苺とシャンプーと夜更かしの小石がカチカチ

と鳴る音に、耳を澄ませるばかりだった。

たった一つ、新しい言語の誕生以前と以降で、変わらない単語があった。棒付キャンデーの「ポーポー」だった。ポーポーだけは、ずっとポーポーであり続けた。

それは近所の雑貨店、青空商店で売られている、何のeヘンテツもない丸い飴あめで、レジの脇の広口ガラス瓶びんの中に入っていた。苺、メロン、葡萄ぶどう、ミカン、ソーダ、薄荷はっか、そしてちろんレモンと多くの色があり、それぞれの色の包装紙でくるまれていた。ただし味はさほど変わらず、食べ終わった後の舌の色が違っただけだった。

毎週水曜日の夕方、兄弟は青空商店でその棒付キャンデーを一本ずつ買うのを習慣にしていた。小父さんは母親に、

「あなたは手出ししちや駄目よ」

と厳しく言い付けられた。

「注文するのも、お金を渡すのもお釣りをもらうのも、全部お兄さんに任せるの。よつぼどの場合じゃない限り、手助けしちやいけないの。いい？」

学校に行けなくなって以来、お兄さんの外出先は青空商店だけになっていたから、母親はこの買い物も、貴重な社会訓練の機会ととらえていたようだった。よつぼどの場合、というのがどういふ場合なのか小父さんにはよく分からず、多少不安ではあったものの、キャンペーンが買ってもらえるのはとにかくうれしいことであつた。ただ小父さんとしては、時にはチョコレートやキャラメルも食べたかつたのだが、お兄さんがポーポーに対して見せる^H執着を考えると、とても自分の希望など口に出せなかつた。

青空商店は孤児院に続く路地の、一つ手前の通りの角にあつた。客が三人も入れれば一杯になる小さな雑貨店で、頭にスカーフを被つた、顔色の悪い店主のおばさんが一人で店番をしていた。がたがたとうるさいガラス戸を開けて中に入ると、コンクリートの床からいつもひんやりとした空気が立ち上つてきた。

「ごめん下さい」

各々の言葉で兄弟が言うのと、声が重なり合い、いつそう不思議な響きとなつた。しかし毎週のことですっかり慣れたのか、大した買物をしない子供になど興味が無いのか、店主は少しも表情を変えなかつた。

レジのあるカウンターに並べられた菓子類以外、子供が喜びそうな品物はなかつたにもかかわらず、小父さんは青空商店の陳列棚をぐるりと見回すのが好きだつた。そこにはびつり隙間なく商品が詰め込まれていた。向つて左側には洗濯糊、ちり紙、石鹼^{せっけん}、蝟燭^{ろうそく}、歯磨き粉、そこから缶詰類を境に食用油、小麦粉、化学調味料と食品に移つてゆき、ケチャップ、氷砂糖、乾麺、ジャムと続く。上の棚にはいつから売れ残つているのかと思う三角巾やメスシリンダーやニクロム線が見え隠れし、床には台秤^{たいばかり}や鍬^{くわ}や糸車が置かれていた。店主の後ろの壁は煙草^{たばこ}や切手や印紙、木綿糸、ボタン、ゴム紐^{ひも}など細々としたもので埋まり、天井からはアルミの鍋類と虫籠^{むしかご}が吊り下げられている。

青空商店はあらゆる雑多な商品を材料にして作られた小部屋だつた。小鳥がボロ布や針金を集めて^{くちばし}嘴でこしらえた巣だつた。ラベルが逆さになつていたり、袋が日に焼けて変色していたり、缶詰の縁がへこんでいたり、そんな手入れの行き届いていないところがまた、一個一個長い時間を掛けて積み上げていったさまを想像させた。店の中に立つと小父さんはなぜか、安全な場所に守られているかのような気分になつた。何か危険な出来事が起こつても、ここにだけはその害が及ばないのではないだろうか、という気がした。そんな店の真ん中に一日中座つていられる店主が、うらやましかつた。

(注1) 例の点検・・・お兄さんの行動特性の一つで、生活の中で一区切りあるたびに白いバスケットの中身を点検すること。

問一

二重傍線部 a～e に相当する漢字を含むものを次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選び、記号を答えなさい。

a レイギ

- ① 受験生にとってモギ試験の結果は重要である。
- ② 街には政策にコウギする人々が集まっている。
- ③ 参加者はギシキが始まる前に着席した。
- ④ 新体制を整えるまでには多くのギセイを払った。
- ⑤ ギム教育が終わるまで引越しはしないことにした。

b コウリヨウ

- ① 月末までにゲンコウを提出しなければならない。
- ② このようなコウヤでは作物が育たない。
- ③ 最近の不景気はテッコウ業界に痛手である。
- ④ その国では権力にテイコウする人々が多く見られた。
- ⑤ 大型船が任務を終えて本国にキコウした。

c ジブ

- ① 事業の失敗でフサイを抱えることになった。
- ② 部屋の空气中にフユウするほこりが見える。
- ③ フヨウドを使い土壤改善を行う。
- ④ 鈴木フサイの地域貢献度は最も高いと言われている。
- ⑤ 新党結成へのフセキを打つ。

d ウブゲ

- ① 先人の偉業をライサンする。
- ② 空中から農薬をサンブする。
- ③ 都市開発計画にサンヨする。
- ④ この問題はサンピの分かれるところである。
- ⑤ あの国は石油サンシュツ国で有名だ。

e ヘンテツ

- ① 船舶のカイテツが無事完了した。
- ② 首相が大臣をコウテツした。
- ③ 事件の解明に向けてテツヤで調査が行われた。
- ④ 大学入学後にテツガクを学ぶことになった。
- ⑤ 大手テツドウ会社の協力により事業が進められた。

問二

傍線部 A 「お兄さんの声がこの半透明で薄っぺらなテープに吸い取られている」とあるが、この様子を別の表現で示している部分を本文中から五十字以内で抜き出して書きなさい。

問三

空欄 B に補う言葉として適当なものを次の①～⑤の中から選び、記号を答えなさい。

- ① 骨格
- ② 響き
- ③ 発音
- ④ カード
- ⑤ 言葉

問四

傍線部 C 「お兄さんの言語は」とあるが、お兄さんの言語の特徴を表す要素を六つ本文から抜き出して書きなさい。

⑥	⑤	④	③	②	①

問五

傍線部 D 「一つの言語を編み出した」とあるが、お兄さんが言語を編み出したことについての説明として**適切でない**ものを次の①～⑤のうちから一つ選び、記号を答えなさい。

- ① お兄さんは、喋るだけで十分、紙に書く必要などないという態度で書き言葉を残さなかった。
- ② 耳と目をつなぐ目印となるものがないまま、言語を編み出した。
- ③ 小鳥のさえずりだけをお手本に、お兄さんはただ一人、自分で自分の耳に音を響かせながら言語を編み出した。
- ④ 小鳥に散らばる言葉の小石を、一個一個ポケットに忍ばせた。
- ⑤ 小鳥たちのさえずりからこぼれ落ちた言葉の結晶を、拾い集めていった。

問六

傍線部 E 「小島に上陸できるのならば」とあるが、母親が「小島に上陸できる」ことを示す表現として示されているものを十字以内で抜き出して書きなさい。

問七

傍線部 F 「あくまでも」とあるが、これと同じ意味で用いたものの例を、次の①～⑤のうちから一つ選び、記号を答えなさい。

- ① これから話すのは、あくまでも私の意見である。
- ② ここで示されているのは、あくまでも目安である。
- ③ この約束は、あくまでも守らなければならない。
- ④ この資料は、あくまでも参考としてあげられている。
- ⑤ この話は、あくまでも歴史上の話である。

問八

傍線部 G 「兄弟はただ黙って、チョツキと苺とシャンプーと夜更かしの小石がカチカチと鳴る音に、耳を澄ませるばかりだった」とあるが、なぜか。その理由について書いている部分を本文中から探し、最初の五文字を抜き出して書きなさい。ただし、字数には句読点などの記号を含むものとする。

問九

傍線部 H 「執着」とあるが、どのようなことか。「執着」としてふさわしくないものを、次の本文を参考にして次の①～⑤のうちから一つ選び、記号を答えなさい。

- ① お兄さんは辛抱強くキャンディーを大事にとっておいた。
- ② お兄さんは火曜のお昼になってようやく包装紙を開け、数時間かけてゆつくりとキャンディーをなめた。
- ③ ポーポーが口の中にある間、お兄さんは一言も口をきかなかった。
- ④ キャンディーをなめている途中、お兄さんは気安く唇の間から小さくなってゆくキャンディーの形を引っ張り出して見せてくれた。
- ⑤ お兄さんは決してキャンディーの包装紙を捨てず、一個食べ終わるごとに、丁寧に皺を伸ばし専用の箱に仕舞った。

家に帰り着くとすぐさま、我慢できずに小父さんはキャンディーを食べた。しかも途中でなめるのに飽き、がりがり噛み砕くので、あつという間になくなってしまった。一方お兄さんは辛抱強く大事にとっておき、火曜のお昼になってようやく包装紙を開け、数時間かけてゆつくりとなめた。ポーポーが口の中にある間、お兄さんは一言も口をきかなかつた。

途中、小父さんはお兄さんに頼んで、小さくなってゆくキャンディーの形を見せてもらった。

「今、どんな具合？」

そう尋ねると、お兄さんは気安く唇の間からキャンディーを引っ張り出してくれた。お兄さんの唇は溶けた砂糖でぺたぺたと光って見えた。

「うん、ありがとう」

小父さんは言った。

自分も少しなめさせてもらいたいからではなかった。キャンディーが間違いなくちゃんと小さくなっているのを確かめないと、このままずっと口がふさがったままになり、お兄さんはとうとう何語であれ一言も喋らなくなるのではないかと心配だったからだ。最後までがんばって棒の先にしがみついていた、ほんの小さな一欠けらが溶けてなくなると、小父さんは密かにほっとした。

お兄さんがポーポーを愛した一番の理由は、メーカーのシンボルマークが小鳥だったからではないかと思われる。何の種類かははっきりしないが、丸みを帯びた胴と小さな嘴くちばしを持った、キャンディーと同じ色の小鳥のイラストが包装紙一杯に印刷されていた。羽を広げ、気持よく胸をふくらませ、笑みを浮かべるような表情で空を飛んでいた。

お兄さんは決して包装紙を捨てなかった。一個食べ終わるごとに、丁寧に皺を伸ばし、専用の箱に仕舞った。もちろん小父さんは自分の分をお兄さんにあげた。

二 次の文章は、小塩真司の著書『性格とは何か』の一部である。これを読んで後の間に答えなさい。なお、出題に際し表記を一部改めている。

人間の顔には何か、他の情報とは異なる特別な印象をもたらす効果があるのだろうか。Aが。顔がもたらす印象はとても強く、私たちは半ば B に顔を見ているいろいろなことを判定してしまうようである。

行動の薄切り研究を行ったボルケナウは別の研究で、メガネをかけることと性格との関連についても検討している。その研究結果によると、メガネをかけることは内向的な性格に関連しており、そして実際に、メガネをかける人物は内向的にみられるそうである。ただしこれは今から30年近く前にドイツで行われた研究である。当時よりもオシャレなメガネが多くなった現在の日本で検討すると、もしかしたら違う結果になるかもしれないが、それでも顔にメガネをかけているだけで、本人の性格が伝わってしまうのだろうか。

あなたの目の前のコンピュータスクリーン上、左右に2枚のモノクロの顔写真が示される。そして、顔だけを見て「どちらの人物のほうが高い能力をもつと思うか」を判断させる。顔は次々と表示されるので、あなたはパッと顔を見て右か左かを判定していく。実はこの左右に並んだ顔写真は、アメリカの各州で選挙を戦った上院議員の立候補者たちである。あなたは顔を見て能力が高そうだと思うほうを選択したただけなのだが、実際の選挙結果を予測できるだろうか。このような実験を行った研究によると、およそ7割の確率で顔だけを見て選挙結果を予測できるそうである。しかも、顔写真を示す時間を1秒以下にしても、6割以上の確率で当選者を当てることができる。私たちは a イツシユンのうちに顔で判断していることがわかる研究結果であると同時に、もしかしたら私たちは投票する際にも、候補者の顔を見て選んでいるのかもしれない。

外見に基づいてどのような性格の判断が行われるかに注目した研究もある。この研究では、実験の参加者が自分自身の性格を評定し、知り合い3名にも性格を評定してもらう。次に、直立した姿勢と自由な体勢で2枚の写真を撮影する。そして、実験の参加者のことを知らない第三者が、写真の印象だけから性格を評定するということが試みられている。果たして、写真を見ただけで、そこに写っている本人の性格は伝わるのだろうか。 【ア】

では、写真の何を介して、本人の外向性が第三者に伝わるのだろうか。外向的な人物は、健康的でエネルギーッシュな雰囲気です。そして大きな笑顔で写真に b オサまる傾向があるようである。そして、その写真を見た第三者は、そこに写っている人を「外向的だ」と判断する傾向がある。 【イ】

特に笑顔の大きさは、その人物の印象を大きく左右するようである。笑顔に関連するのは外向性だけではなく、協調性が高い人も写真の中で笑顔を示しやすい。その一方で、笑顔が

大きな人物の写真を見たときに私たちは、外向的で協調的ということのほかにも勤勉で開放的で情緒安定的といったように、さらに好ましい印象をその人物の中に見てしまうようである。**C** 他の人に良い印象を与えるいちばんの方法は、笑顔なのかもしれない。

【ウ】

写真に写った笑顔の大きさについては、もうひとつとても興味深い研究がある。この研究では、何年(何十年)も前に大学を卒業した、もと学生たちの卒業アルバムの写真が分析されている。それぞれの卒業アルバムの写真について、複数の学生たちが「どれくらい笑顔が大きいか」を評価することで、それぞれの写真の笑顔の大きさを得点化する。そして、その学生時代の卒業写真の笑顔の大きさと、これまでに離婚した経験があるかどうかとの関連を検討した。すると、離婚経験がない人のほうが、離婚経験がある人よりも、卒業写真の笑顔が大きい傾向にあることが示されたのである。これは、男性でも女性でも同じであった。また別の高齢者たちに子どもの頃の写真を持ってきてもらい、離婚経験があるかどうかを尋ねる調査も行われている。結果はやはり、子どもの頃の写真に笑顔が多い人のほうが、離婚経験が少ない傾向にあった。

【エ】

笑顔には、本人の性格特性としては外向性や協調性の高さが反映するのもかもしれないが、それ以上に他の人々にとっても良い印象を与える効果がある。笑顔のポジティブさは、当然家族にも夫婦関係にも良い影響を与えるだろう。

【オ】

Facebook & Twitter、インスタグラムなどSNSに自撮り写真を投稿する人は、(注1)ナルシスティックな傾向があるのだろうか。ポーランドの研究者たちが行った調査によれば、たしかにそのような関連がありそうである。

(注2)ナルシズムの傾向が高い人は、自分ひとりの自撮り写真も、恋愛相手との自撮り写真も、グループでの自撮り写真も、とにかく自分が写っている写真をSNSに投稿しがちだという。ただしその関連は女性よりも男性のほうにより多く見られるという結果だった。もしかしたら自撮り写真を投稿する動機づけが男女で異なっているのかもしれない。男性は比較的、賞賛を求めたり、**キョエイシン**を示したり、他の人々に**ユウエツ**するという動機で自撮り写真を投稿するのに対し、女性はつながりを重視して投稿するという傾向はないだろうか。

D SNSを使う傾向そのものに、性格は関係するのだろうか。過去の研究結果を統合するメタ分析によって、その関連を検討した研究がある。

その研究結果によれば、やはりさまざまなSNSの活動にもっとも関連していたのは、外向性であった。外向性は、特にSNS上で友人とつながることや相互交流を行うこと、そして写真を投稿することに関連している。また、ゲームに関連するSNSの活動(SNS上のゲームや、ゲームを介したやりとり)や、SNS上で情報探索をする行動に関連していたの

は開放性であった。

この外向性と開放性とともに、e ホウシユウを積極的に得ようとする活動に関連する。外向性の高さはより強くポジティブな刺激を得ることに動機づけられる傾向がある。そのことが、ひとりで家の中にいるよりも外出して多くの人と交流し、より刺激を求めてさまざまな場所へと動いていくような行動を生み出すと考えられる。また開放性は、新しいものや情報を知りたい、経験したいという好奇心に動機づけられる行動につながる。

SNSはソーシャルネットワークという言葉の意味からして、Eである。しかしそのネットワーク上での活動は、緩やかな人と人とのつながりそのものというよりも、Fになっていないのだろうか。ネットの世界は、安定した変化が少ない状態が続くのではなく、Gである。SNSにつながることで、Hが人々をSNSに向かわせると言えるかもしれない。このように私たちが普段何気なく行っていることの背景を考えると、そこには多くの意味があることに気づく。

現実の世界に目を向けてみよう。社会の中で「より良い結果」とは、何を指すのだろうか。生徒たちにとってそれは学校の成績であり、大学生にとっては成績評価値であるGPA (Grade Point Average)の高や、「良い結果」であると言えるだろうか。

オーストラリアの心理学者アーサー・ポロパットは、性格と学業成績との関係をメタ分析で検討している。学業成績は全体的に注3ビッグ・ファイブの中でも勤勉性と強く関連しており、その関連の強さは知能と学業成績との関連の強さと同じくらいだった。歴史的経緯をひもとくと、もともと知能検査は小学校に入学する前に、授業についていけない子どもたちを選んで特別な教育を施すための注4スクリーニングを目的として開発された検査である。したがって、知能検査の結果が学業成績を予測するのは当然だと言えるだろう。それに対して、勤勉性の性格特性は、特に学業成績を予測するために考え出された概念ではない。であるにもかかわらず、知能と同じくらい学業成績に関連するというのは、とても興味深い現象だと言えるだろう。

また、さらに詳しく検討すると、小学校から高等教育へと教育段階が進んでいくにつれて、性格と学業成績との関連は次第に小さくなっていく様子が示された。子どもの頃は性格が比較的そのまま成績に反映するのに対して、高校、大学と進んでいくとIやJの状況、Kなどそれ以外の要素が増えていくため、関連が弱くなると考えられる。

そのような状況の中でも、L全体的に安定して学業成績に関連していたのは、勤勉性の性格特性だった。規律を守って目標を設定し、その目標に向かって進んでいくような行動上の特徴が、成績に結びつくようである。

学校を出て仕事をしはじめると、職場で評価されることが社会の中で「より良い結果」に

結びつくひとつの要因になる。仕事上での成功は社会的地位を上げ、収入を増やし、なんといつても充実感や満足感をもたらしてくれる、重要な活動のひとつである。では、このような結果にも、性格は関連するのだろうか。

就活生にとって就職活動の中でもっとも重視される項目は、コミュニケーション能力だとされる。就活の中で言われるコミュニケーション能力が、何を意味しているのかについてはよくわからない面があるものの、多くの人々のイメージをビッグ・ファイブの性格特性に当てはめると、外向性や協調性だと言えるのではないだろうか。

では、実際にはどうなのかを見てみよう。性格特性と職業上の成功との関連について、メタ分析で検討した研究がある。その研究結果によると、ビッグ・ファイブの性格特性の中でMどのような職業にも共通して、職業上のパフォーマンスに安定して関連していたのは、勤勉性であった。訓練でうまく技能が向上していくこと、人事上の評価の高さにも、また仕事上の生産性にも、そして収入の多さにも、関連の程度は強くないものの、安定して関連していたのが勤勉性なのである。

外向性や協調性のような、いわゆるコミュニケーションに関連しそうな性格特性は、それほど職業上のパフォーマンスの高さを予測するわけではなさそうである。もちろん、チームとしてともに業務を遂行していく上で、互いに円滑なコミュニケーションをとることは必要不可欠な要素である。ところが研究結果を見るとそれよりも、目標を立て、その目標に向かって計画を立案し、実際に意欲をもって遂行していく、そのような行動につながる勤勉性が、おおよそどのような職業でもそれなりにうまくやっていくために必要な特性であるように見える。

(注1)ナルシスティック・・・自己愛的な。自己陶酔的な。

(注2)ナルシシズム・・・自己愛。自己陶酔。

(注3)ビッグ・ファイブ・・・人間の性格全体は、五つの次元(ビッグ・ファイブ)により、おおよそ過不足なく表現できると考えられている研究結果。以下はその五つの次元である。「外向性」「神経症傾向」「開放性」「協調性」「勤勉性」。

(注4)スクリーニング・・・ふるい分け。

問一 二重傍線部 a↘e のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 傍線部 A 「か」は、終助詞である。これと同じ意味で終助詞「か」が使われている文を次の①～⑤の中から選び、記号を答えなさい。

- ① 花に水をあげるのを手伝っていただけませんか。
- ② 時間になったので、そろそろ出かけるとするか。
- ③ そのような意見に、どうして賛成できようか。
- ④ そのようなことはもうよさないか。
- ⑤ 君が遅れたって、そんなこと知るものか。

問三 空欄 B に補う言葉として適当なものを次の①～⑤の中から選び、記号を答えなさい。

- ① 強制的
- ② 好意的
- ③ 批判的
- ④ 逆説的
- ⑤ 自動的

問四 本文からは、次の段落が脱落している。この段落を補うのに適切な場所の記号【ア～オ】を答えなさい。

結果から、写真を介してよく伝わる性格特性は外向性と開放性であった。特に外向性は、写真を介してもっともよく伝わる性格特性のようである。

問五 傍線部 C 「他の人に良い印象を与えるいちばんの方法は、笑顔」とあるが、他の人に与える「好ましい印象」を本文から探して五つ答えなさい。

問六

傍線部D「SNSを使う傾向そのものに、性格は関係するのだろうか。」とあるが、関連を検討した研究の説明として**適切でない**ものを次の①～⑤の中から一つ選び、記号を答えなさい。

- ① SNSの活動にもっとも関連していたのは外向性である。
- ② 外向性は、SNS上で友人とつながり、相互交流を行うことに関連している。
- ③ 外向性は、写真を投稿することに関連している。
- ④ 外向性は、SNS上のゲームや、ゲームを介したやりとりに関連している。
- ⑤ 開放性は、SNS上で情報探索をする行動に関連している。

問七

空欄E～Hに入る内容として最も適切なものを次の①～⑤の中から一つ選び、記号を答えなさい。

- ① 情報操作を行い、虚偽の情報ばかりを真実のように広げることが中心
- ② 情報のやりとりを介して刺激を求める活動が中心
- ③ 日々何か新しいことに接することができる、そのような動機づけ
- ④ 日々新しい情報が飛び交い、今この時も拡大し続けている世界
- ⑤ 人と人をつなげるシステム

問八

空欄I～Kに入る説明の組み合わせとして適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、記号を答えなさい。

- ① 【I 知能】【J 学校】【K 経済状況】
- ② 【I 学校】【J 家庭】【K 友人関係】
- ③ 【I 知能】【J 学校】【K 友人関係】
- ④ 【I 学校】【J 知能】【K 経済状況】
- ⑤ 【I 友人】【J 家庭】【K 社会状況】

問九

傍線部L「全体的に安定して学業成績に関連していたのは、勤勉性の性格特性」と、傍線部M「どのような職業にも共通して、職業上のパフォーマンスに安定して関連していたのは、勤勉性」とあるが、学業と職業の「勤勉性」の行動上の特徴について説明してある部分を探し、それぞれ説明している部分の初め五文字を書きなさい。ただし、字数には句読点などの記号を含むものとする。

問十

本文を読んで、性格に関して分かったことと、あなたの考えを書きなさい。記述の際には「ビッグ・ファイブ」の内容を踏まえ、百五十文字以上、二百字以内で書きなさい。ただし、字数には句読点などの記号を含むものとする。